

# 大野小学校

「みんなでつくる幸せな学校」



HP QR コード



自ら進んで学ぶ子 自分を高める子 互いを認め合える子

進んで健康な体をつくる子 すべての子どもが幸せを感じできる地域にする

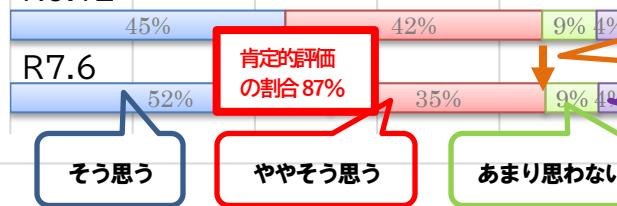
令和7年9月16日 第13号

## 学校評価へのご理解とご協力をありがとうございました。

令和7年度、前期学校評価にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。

集計結果が整いましたので、ご報告いたします。

R6.12



肯定的評価  
の割合 87%

肯定的評価  
の増減を示します

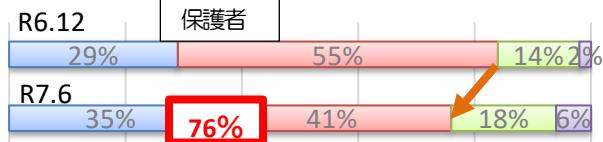
### グラフの見方

上段が、前年度後期、下段が  
今年度前期のデータです。  
グラフ左から肯定的評価とな  
っております。

### 1 お子さんは、学校の勉強がわかりやすいと言っていますか。

R6.12

保護者



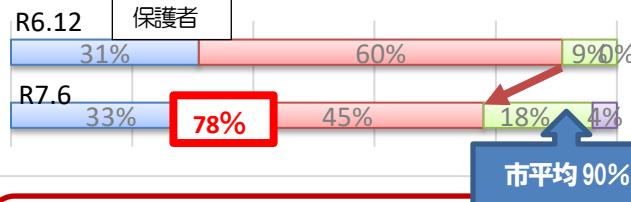
76%

低学年はみらいサポートによる個別の支援を、中学年は算数科の授業を少人数で、高学年は社会科専科と併せて教科担任制を取り入れ、「できた。」「わかった。」を増やす授業づくりを今後も継続していきます。また、低・中学年を対象とした放課後のまなびくらふを実施していく中で、一人一人の課題に応じた支援に努めてまいります。

### 2 お子さんは、友だちと「お互いの良さを認め合う」ような関係作りができますか。

R6.12

保護者

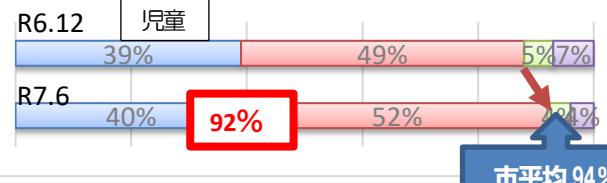


78%

市平均 90%

R6.12

児童



92%

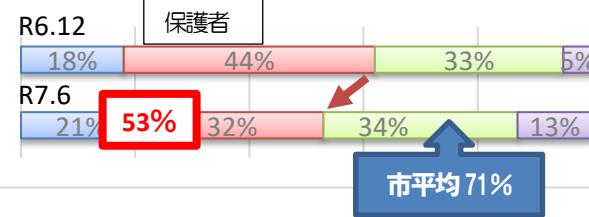
市平均 94%

本校の特色であるたてわり活動はもちろんのこと、学級会活動や委員会・クラブ活動、何よりも6年生を中心となって進める「みんなでつくる幸せな学校」を目指した取り組みが、互いを認め合うあたたかい風土を醸成してきたものと考えます。引き続き、学校生活の中で、また、体験活動や探究的な学びの場面で、多様な人々と協働していくことで、「互いの良さを認め合う」関係を培っていきたいと思います。

### 3 お子さんは、目標をもって学習したり、生活したりしていますか。

R6.12

保護者

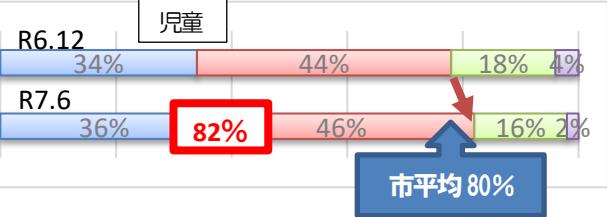


53%

市平均 71%

R6.12

児童

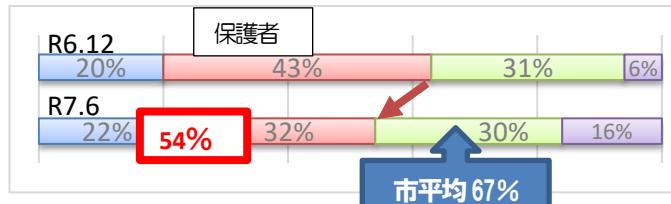


82%

市平均 80%

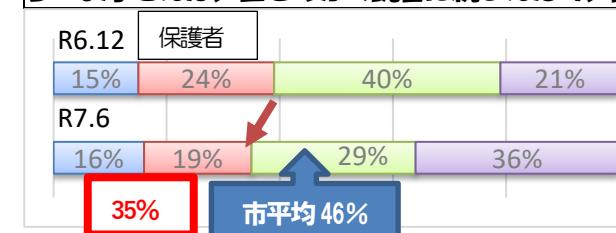
学習においては、子どもたちが課題を見出し、解決までの見通しをもって主体的に取り組むことができるよう、学年や教科に応じた授業づくりに努めているところです。生活においては、毎月、生活目標を立て、目標達成のための手立てを講じ、振り返りをしています。目標をもって学習したり生活したりできる子どもたちに育てていくために、学校教育目標とともに目指す子どもたちの姿について、繰り返し伝えています。

## 4 お子さんは、調べたいことやわからぬことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味をもって学習に取り組んでいますか。



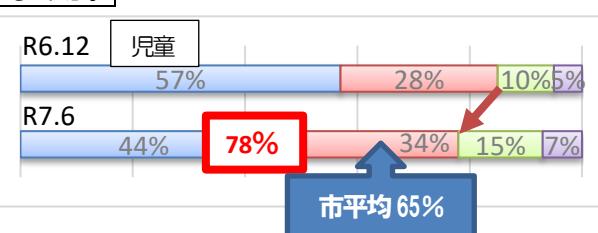
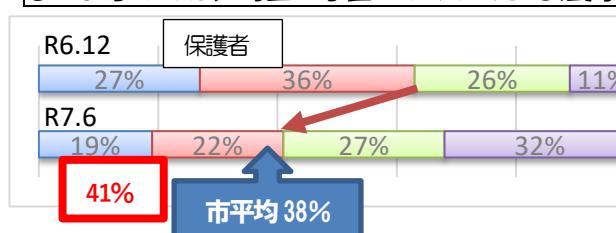
どの教科においても体験や経験を増やすと共に、生活と結び付けて課題を見出した結果、いろいろなことに興味をもって学習に取り組むことができるようになってきました。今後は、わかるようになるまで、できるようになるまで、教師や仲間、地域の方々と共に粘り強く取り組むことができるよう支援していきます。

## 5 お子さんは、日ごろから読書に親しんだり、図書資料を使って調べ物をしたりしていますか。



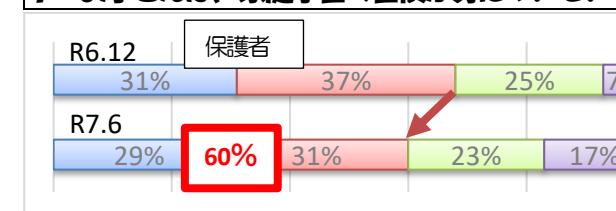
週一回の朝読書の取り組みとおはなしやうびんさんや図書司書・学級担任による読み聞かせ活動、漫画を中心とした読書コーナーの設置、学級文庫の入れ替えや図書室内の本の選定・整備等を行いました。子どもたちがよい本に触れる機会を増やすとともに、学習の中で、資料を読んだり調べたり、まとめたりする活動を取り入れています。

## 6 お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。



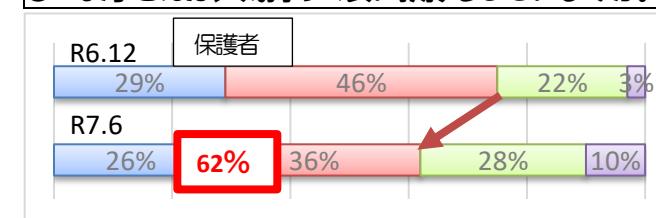
個々の課題に取り組むためのドリルパーク、考えを表現したり整理したり記録したりするためのオクリンクプラスと、一人一人が文房具の一つとしてタブレットを活用できるようにします。併せて、校内研修を重ね、教職員のICT指導力の向上に努めます。なお、1年生のタブレット貸与開始は、11月頃を予定しています。

## 7 お子さんは、家庭学習の習慣が身についていますか。



日頃より、子どもたちの家庭学習を見守り、支援していただき、感謝しております。今後は、音読、漢字や計算ドリル、ドリルパーク(A-Iドリル)、学年によっては自主学習と、家庭学習の内容や量について見直しをしていくとともに、子どもたちが見通しをもって、自ら取り組む「学習」となるよう個々に応じた支援に努めます。

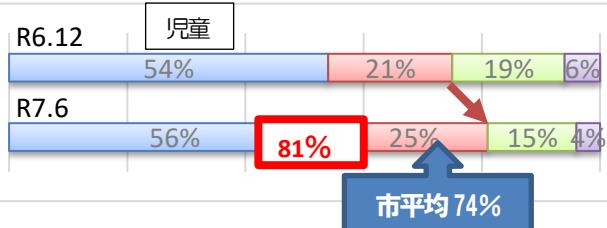
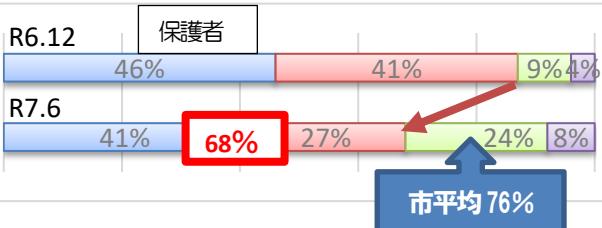
## 8 お子さんは、気持ちの良い挨拶をしていますか。



登下校の時間帯等、保護者の皆様はもちろんのこと、中学生やお年寄り、小さいお子さんも挨拶をしてくださいます。ありがとうございます。

校舎内では、6年生が手本となり、気持ちの良い挨拶ができる大野っ子です。登下校時、また、校外でも気持ちの良い挨拶ができるよう指導していきます。

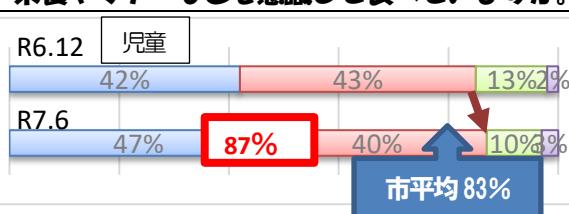
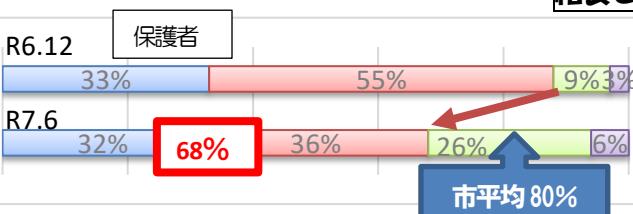
## 9 お子さんは、外で遊ぶなど進んで体を動かしていますか。



低学年・中学年の体育科は、2人体制で専門性を生かした指導をしています。また、鉄棒やマットなどの器械運動に継続的に取り組むことができるよう、場の設定をしました。毎週火曜日はロング休みとし、外遊びを奨励しています。ボッチャ、ゴルフボール、水球と様々な運動に触れる機会を増やし、運動好きな大野っ子を目指します。

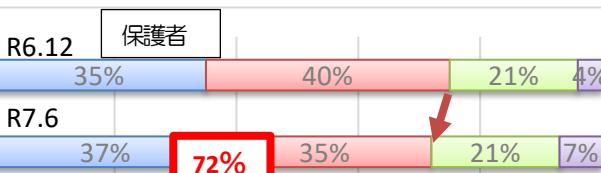
## 10 お子さんは、望ましい食習慣が身についていますか。

給食では、栄養やマナーなどを意識して食べていますか。



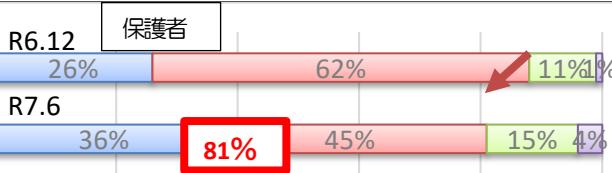
昼の放送を利用して、給食メニューの紹介とともに、赤・黄・緑の栄養素とその働きについて、毎日わかりやすく説明しています。残菜率の最も高い牛乳については、低学年に「みるく教室」を実施しました。野菜の皮むき体験、箸の使い方教室、行事食や郷土料理を取り入れたメニュー、5年生の太巻き祭り寿司体験など、企業の教育力も活用し、栄養士を中心に、全学年通年で食育活動を進めます。併せて、給食試食会を年2回実施し本校の取り組みについて伝えるとともに、子どもたちの健やかな成長のために、ご家庭と協力して食育を進めていきたいと思います。

## 11 お子さんは、早寝早起きなど、望ましい生活習慣が身についていますか。



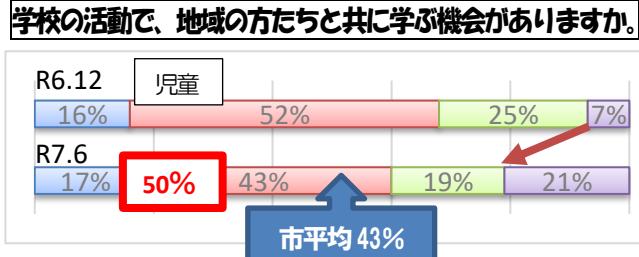
望ましい生活習慣の習得は、子どもたちの心と体を整え、小児生活習慣病の予防と健やかな成長に欠かせません。保健委員会による啓発活動、養護教諭による保健指導と併せて、教科や特別活動の中で、繰り返し指導をしていきます。

## 12 学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるように努めていると思いますか。



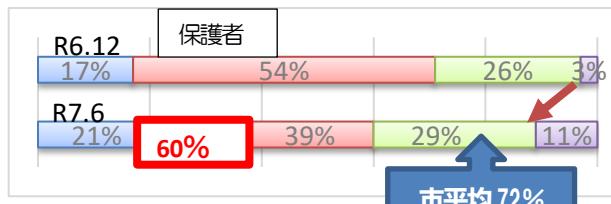
引き続き、学校だよりやホームページ等で伝えるなど、ご理解いただけるよう努めてまいります。なお、学校運営方針等に関するご意見やご不明な点につきましては、校長までご連絡いただけたらと思います。また、家庭や地域の代表者が参集して行う学校運営協議会（11/15、2/20 いずれも9時から）も、傍聴することができます。

## 13 学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取り組みを進めていると思いますか。



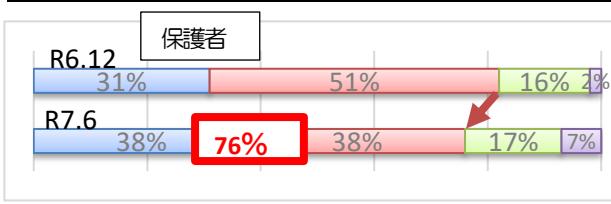
2学期以降も全学年において、地域や企業の教育力を活用した学習を進めていきます。また、PTA本部さんやお父さん委員会の協力を得て、体育館通路の「大野っ子ギャラリー」や田んぼ脇の「ビオトープ」の建設を予定しています。引き続き保護者ボランティアの活用を積極的に進め、家庭・地域と連携して大野っ子を育てていきます。

#### 14 学校には、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか。



ご家庭と対話を重ね、お子さんが安心して過ごすことができるよう、また、お子さんの持つ力を伸ばすことができるよう、支援体制や方法について整えていきます。引き続き、月一回の支援会議で情報を共有し、全教職員で同じ対応ができるよう努めてまいります。

#### 15 学校は、特色ある取り組みや教育を進めていると思いますか。



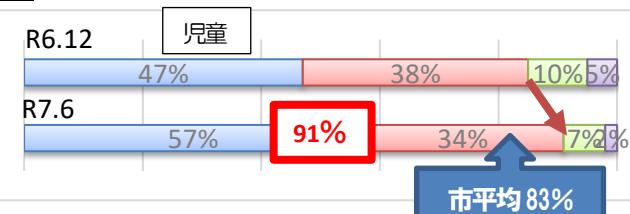
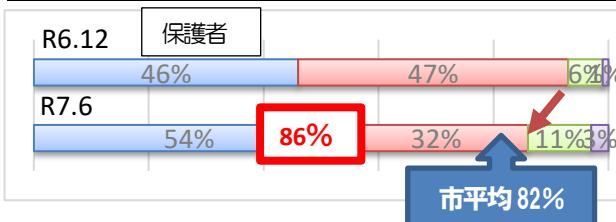
GIGAスクールセンター校としてのICTの利活用、保護者ボランティアとともにを行う教育活動、企業や地域の教育力を学習に生かすことなどが、本校の特色ある取り組みと考えます。今後も継続していきます。

#### 16 学校は、学校だよりやHP、メール配信等で情報提供を行っていると思いますか。



今後も、必要な情報を早く正確に伝えることができるよう努力いたします。また、学校だよりはWeb版も作成してHPに掲載してます。閲覧数が伸びるよう工夫していきます。

#### 17 学校は、体験活動を取り入れていると思いますか。



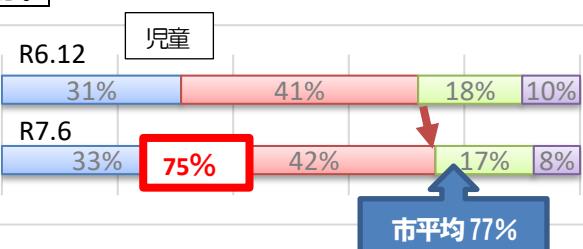
市平均 82%

市平均 83%

どの学習においても体験や経験を通して、また、生活と結び付けて課題を見出す探究的な学習スタイルとなるよう努めてきました。今後も保護者の皆様や地域の方々の協力を得て、子どもたちの学びを広め、深めていきます。

#### 18 困ったことがあった時に、相談できる先生がいますか。

引き続き、「みんなでつくろう幸せな学校」を目指し、大野小すべての子どもたちを教職員全体で見守り育てていきます。子どもたちが安心して過ごすことができるよう子どもたちとの信頼関係はもちろんのこと、支えてくださる保護者の皆様との信頼関係を構築できるよう、全教職員で努力していきます。



市平均 77%

以上、令和7年度前期学校評価の集計と令和6年度後期との比較、さらに分析と今後の取り組みについて記載いたしました。保護者様の評価につきましては、令和6年度後期と比較して全項目においてマイナスとなっております。課題や課題解決のための手立てについて教職員とともに考えていくことはもちろんのこと、「Well-being～すべての子どもたちが幸せを実感できる学校～」にするために、保護者の皆様や学校運営協議会委員の皆様、地域の方々のお力を借りて課題解決に努めたいと思います。学校運営に関するご意見等ございましたら、校長まで(338-3000)お願いいたします。今後も、子どもたちの健やかな成長と「みんなでつくろう幸せな学校」の実現をめざし、教職員一同、邁進していきます。